

令和7年度秋田大学大学院医学系研究科
医学専攻（博士課程）入学試験
（2回目）

小論文

令和6年12月19日（木）（12:40～14:10）

試験終了後、解答用紙のみ提出してください。

監督者の指示があるまで問題を開かないでください。

問題用紙	4枚
解答用紙	2枚

I 以下の文章を読んで問いに答えなさい。

(本文省略)

(本文省略)

(本文省略)

<出典：Elizabeth Gibney, 翻訳:三枝小夜子, あなたの論文が AI モデルの訓練に使われているかも, Nature ダイジェスト Vol.21 No.11, doi: 10.1038/ndigest.2024.241112, 一部改変>

問1 学術出版社が研究論文のアクセス権をテック企業に販売することについて, どのような問題を引き起こす可能性があるかを 150 字以内で述べなさい。

問2 本文中の A, B に入る職種を答えなさい。

問3 大規模言語モデル (LLM) は, 研究での活用も議論の的になっている。研究論文の執筆に LLM を用いることについて, 賛成・反対の立場を明確にしたうえで, あなた自身の考えを 200 字以内で述べなさい。

受験番号		氏 名	
------	--	-----	--

医学専攻（博士課程）「小論文」 解答用紙

1/2

I

問 1 学術出版社が研究論文のアクセス権をテック企業に販売することについて, どのような問題を引き起こす可能性があるかを 150 字以内で述べなさい。

(横書き)

20×8

(150 字)

問 2 本文中の A , B に入る職種を答えなさい。

A _____

B _____

問 1 学術出版社が研究論文のアクセス権をテック企業に販売することについて、どのような問題を引き起こす可能性があるかを 150 字以内で述べなさい。(30 点)

出題意図：

学術的な内容の文章を読み解き、明晰な言語を用いて、他者に伝達するための能力を問う。

回答例：

著者の同意を得ずに、研究論文が商業目的で使用されている。また、研究者は自らの論文が AI モデルの訓練に使われていることに対する情報提供を受けておらず、利益がどのように分配されるかも不透明である。そのため、著作権侵害の問題を引き起こす可能性がある。

問 2 本文中の A ， B に入る職種を答えなさい。(各 15 点)

出題意図：

学術的な内容の文章を読み解き、著者の意図を汲み取って、表現する能力を問う。

A: 芸術家

B: 作家

問 3 大規模言語モデル(LLM)は、研究での活用も議論的になっている。研究論文の執筆に LLM を用いることについて、賛成・反対の立場を明確にしたうえで、あなた自身の考えを 200 字以内で述べなさい。(40 点)

出題意図：

物事を論理的に思考し、明晰な言語を用いて、他者に伝達するための能力を問う。

回答例：

賛成の立場

私は、研究論文の執筆に大規模言語モデル(LLM)を使用することは賛成である。LLM は進化を続けており、優れた文章や画像などを効率的に生成することができるため、研究者にとって有益である。一方で、LLM の使用は、意図しない著作権侵害や誤情報の活用に繋がる可能性などに注意を要する。こうした LLM の欠点を理解したうえで、適切に論文執筆に利用することにより、研究の発展に大きく貢献すると考えられる。

反対の立場

私は、研究論文の執筆に大規模言語モデル(LLM)を使用することは反対である。LLM は進化を続けており、優れた文章や画像などを効率的に生成することができる。一方で、意図しない著作権侵害や誤情報の活用に繋がる可能性がある。また、現時点においてLLMの利用に関する一般的な基準は定まっていない。そのため、投稿先の論文誌等が定める指針を逸脱した場合には、研究不正に繋がる可能性がある。